



オナガミズナギドリ (ミズナギドリ目ミズナギドリ科) *Puffinus pacificus*

写真・文 北村久枝

オナガミズナギドリは、インド洋、太平洋に分布し、日本には繁殖のため主に淡色型の個体が小笠原諸島、硫黄列島に飛来します。

前号に続き、海鳥です。昨年6月に仕事でハワイに行く機会があり、フリー日に上陸許可を得た野鳥保護区のポポイアイランドに、カヤックに乗って探鳥に行きました。人間が襲ってこないことを知っているためか、横に寝転んでも、私を気にすることなくノンビリと昼寝をしたり、じゃれ合うオナガミズナギドリたち。島には、卵が無造作に転がっていました。繁殖のために渡ってくるということで、幼鳥は穴の中にいました。保護団体が管理をしているようです。

ハワイの野鳥は町の中でも人間の傍までやってきます。しかし、その大半が外来種で、人間の餌付けが原因で、人を恐れることがないそうです。そうして勢力を伸ばした外来種や外来植物によって、ハワイ固有種の野鳥のミツスイは絶滅危惧となり、残念ながら彼らには滞在中一度も会えませんでした。貴重な野鳥を絶滅させることなく、自然を守り、野鳥観察をしていきたいですね。